



**7月28日、29日  
皇太子ご一家が伊勢へご行啓。  
神宮参拝されました**

7月28日、29日の2日間、皇太子さまが、皇太子妃雅子さま、長女の敬宮愛子さまとともに神宮参拝のため伊勢市にご行啓になりました。

皇太子さま、雅子さまは前回の遷宮年にご成婚され、翌年に新宮へ参拝されたことを記憶している市民も多く、20年の節目に、大きくなられた愛子さまも揃ってご家族をお迎えできたこともたいへん嬉しく、宇治山田駅や外宮、内宮間の沿道では、二目お姿を拝見し、歓迎したいと集まったたくさんの方が日丸の小旗でお迎えしました。

到着された日は、外宮のせんくう館をご観覧。翌日には、外宮、内宮の順に参拝されました。



別宮  
お白石持行事

「つきよみさん」を参拝しませんか？

いよいよ9月28日にお白石持奉獻、そして10月6日には遷御が行われる「月読宮」。内宮の天照大御神の弟神、そしてその親神様が祀られています。

**内宮別宮  
「月読宮」**  
(伊勢市中村町)

内宮から約18キロ、中村町にある月読宮は内宮の別宮。宮域外の別宮としては最高位です。こちらには天照大御神の弟神にあたる「月読尊」が祀られています。

あらゆるものに神様が宿るという日本古来の考え方が伝えられる日本の神話では、この国がうまれるときにまず夫婦の神様がつけられ、その夫婦神の子どもとして、たくさんのお神様が生まれていきました。その夫婦神が伊弉諾尊、伊弉冉尊。その子どもとして、太陽にたとえられる天照大御神、そして夜を司る月読尊という立派な神様が産まれたとされています。

月読宮には、月読尊を祭神とする月読宮、そしてその魂を祀る月読荒御魂宮とともに親神である伊弉諾尊を祭神とする伊弉奈岐宮、伊弉冉尊を祭神とする伊佐奈岐宮と、4つの社殿が並びます。

こちらの遷宮の特徴として、ほかのお宮の遷宮は右から左もしくは左から右に移動しますが、同宮では前後(南北)に行われ、現在、現社殿の前の御敷地に造宮がすすめられています。お白石奉獻の後、10月6日には遷御の儀が行われますが、内宮外宮とくらべ、真新しい社殿が近くで拝観できるというのも、別宮の特徴。輝く社殿が並ぶ姿は荘厳です。ぜひ、遷宮を機に月読宮にご参拝ください。

その歴史は1200年以上前に遡り、804年の大神宮儀式帳にも「月読宮」は記されており、現在の4つの社殿となったのは1873年(明治6年)とされています。今こそ東西に大きな道路が通り住宅もたくさんありますが、昔は古市街道とも山を隔てており、朝熊山の麓に五十鈴川が流れ、川沿いに広がる田園が見通せる静かな高台にお宮の社があったことが想像できます。



関連行事情報

伊勢神宮  
神嘗奉祀祭

●開催予定

10月14日(火)「祭のまつり前夜祭」/三重県営サンアリーナ

15日(水)「初穂曳」外宮・陸奥

「祭のまつり」/伊勢市駅前、外宮周辺、伊勢市観光文化会館

16日(木)「初穂曳」内宮・川曳/五十鈴川



今年も神宮の神嘗祭を奉祝する行事「神嘗奉祀祭」が開催されます。お白石持、お木曳を伝承すべく奉曳される初穂曳では今年もまた奉祝のために来勢する全国の有名祭りの踊りや伝統芸能等も披露され、例年、多くの方で伊勢が賑わいます。

**月読宮  
お白石持行事における交通規制**  
平成26年9月28日(日)

規制区間 雨天決行

奉曳出発予定時間 10:00

- 参加者用の駐車場はありません。参加団の準備する交通機関、または公共交通機関等をご利用ください。
- お白石奉獻は、奉獻団以外の一般の方は参加できません。



別宮のお白石持、遷御 日程

※お白石持は雨天決行です

	お白石持行事 日程	遷御 日程
月読宮	平成26年9月28日(日) ●実施奉獻団/四郷	平成26年10月6日(月)
倭姫宮	平成26年11月30日(日) ●実施奉獻団/二見連合、四郷、長峰連合、宇治・二軒茶屋、倭町(奉獻順)	平成26年12月10日(水)
月夜見宮	平成27年2月22日(日) ●実施奉獻団/宮後	平成27年2月28日(土)



※「遷御」は、神様が新宮へお遷りされる儀が執り行われる日です。その前後日に遷宮の諸祭が行われます。参拝停止となる場合がありますのでご注意ください。

